

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
陣内敦 川原ゆかり 座間味愛理 藤野正和			

講義概要	ゼミナール形式で研究を進めていく。学生各自が提起した幼児教育（保育）における問題・課題について、ゼミナールの担当教員が助言指導をおこないながら研究を進めていく。学年末には研究経過発表会を開催し、ここで研究経過の論文発表をおこないインターンシップ園を中心とした幼稚園や保育園関係者と学内の教員からの助言指導を受け、さらに2年次の研究へとつないでいく。
授業計画	<p>1 研究① 論文の章立て検討 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、担当教員への報告準備をおこなう 復習：指導教員の指示する次の研究課題について学習を進める</p> <p>2 研究② 論文の章立て検討 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、担当教員への報告準備をおこなう 復習：指導教員の指示する次の研究課題について学習を進める</p> <p>3 研究③ 問題解決の実施・評価のプロセスの記述 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、担当教員への報告準備をおこなう 復習：指導教員の指示する次の研究課題について学習を進める</p> <p>4 研究④ 問題解決の実施・評価のプロセスの記述 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、担当教員への報告準備をおこなう 復習：指導教員の指示する次の研究課題について学習を進める</p> <p>5 研究⑤ 仮説の記述 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、担当教員への報告準備をおこなう 復習：指導教員の指示する次の研究課題について学習を進める</p> <p>6 研究⑥ 仮説の記述 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、担当教員への報告準備をおこなう 復習：指導教員の指示する次の研究課題について学習を進める</p> <p>7 研究⑦ 論文全体の調整と経過的テーマの設定 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、担当教員への報告準備をおこなう 復習：指導教員の指示する次の研究課題について学習を進める</p> <p>8 研究⑧ 学年末成果レポート（研究経過）の作成 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、成果レポート作成の準備をおこなう 復習：文章を推敲する</p> <p>9 研究⑨ 学年末成果レポート（研究経過）の作成 学習課題 予習：これまでの研究課題の成果をまとめ、成果レポート作成の準備をおこなう 復習：研究の振り返りをおこなう</p> <p>10 研究経過発表会の資料作成① 論文（研究経過レポート）集編集 学習課題 予習：論文（研究経過レポート）の印刷原稿を作成する 復習：論文（研究経過レポート）をデータ保存する</p> <p>11 研究経過発表会の資料作成② パワーポイント作成 学習課題 予習：既修了者のパワーポイントを参考に自身のプレゼン方法を模索する 復習：パワーポイントの修正をおこなう</p> <p>12 研究経過発表会の資料作成③ 口頭発表練習 学習課題 予習：自身のパワーポイントの内容を把握する 復習：パワーポイントの修正をおこなう</p> <p>13 研究経過発表会の資料作成④ 質疑を想定しながら補助資料の作成 学習課題 予習：質疑応答の内容を予想する 復習：補修学習をおこなう</p> <p>14 研究経過発表会の実施① 発表会の運営と論文発表 学習課題 予習：自身の研究の目的を再確認する 復習：自身の研究の成果を再確認する</p> <p>15 研究経過発表会の実施② 発表会の運営と論文発表 学習課題 予習：自身の発表について振り返る 復習：助言指導について振り返る</p>

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自らの保育観および保育者観を形成するための総合的学習を行い、多角的なスキルを身に着けている ②先行研究の論拠や方向性を理解し、自己課題を見つけることができる ③保育・教育や社会問題に関する情報を適切に収集・分析し、問題意識を持つことができる ④問題に対して論理的な仮説を立てることができる ⑤研究方法と研究計画を立案することができる
教科書・参考書	研究テーマごとに、必要な参考資料を提示。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	